

議会報告会報告書

1. 開催地区名 男鹿中地区
2. 開催日時 令和6年8月3日(土) 15時56分から17時28分まで
3. 出席議員 小松 穂積(職務代理者)
吉田 清孝 進藤 優子 田井 博之
4. 参加者数 19名
5. 意見・要望等
 - (1) 議会に対する事項
 - ① 国道101号浜間口バイパスについて、早期完成できるよう議会としても関係機関に働きかけていただきたい。
 - (2) 市政に対する事項
 - ① 空き家はますます増加していくことが予測されるものの、解体費用が高額との事由から容易に踏み切れないのが現実である。市と各地域が一体となって車座で対応を協議していくなど、観光地を標榜する男鹿市として空き家対策に本気で立ち向かっていく考えはあるのか。
 - ② 滝川河川について、県事業で下流部から順に土砂の撤去作業を実施していただいているが、男鹿中コミュニティセンター裏手や杉下地内については雑木や雑草が繁茂している状況であり、雨量によって氾濫の危険性が生じている。県からは、県内で頻発している他地域における水害対応を優先すると告げられており、施工区間の遅延を憂慮しているところである。
 - ③ 国道101号浜間口バイパスについて、北部地区への観光アクセス道路として非常に重要な位置づけとしている市の熱意と情熱が感じられない。何とか早期完成を実現していただきたい。また、完成が遅れている代替として、現国道101号沿道(牧野・浜間口間)支障木の枝払いを実施していただきたい。

- ④ 浜間口地内に存在する小型風力発電機（12基）について、現在は全て稼働していない状況となっており、このまま放置されることを大変危惧している。撤去を含めた対応方について、ぜひとも行政から事業者に働きかけていただきたい。
- ⑤ 人手確保に外国人労働者を受入れするなど、地域農業を維持していくためには抜本的な対策や政策における展望が必要である。一方、男鹿中地内における国有林は、皆伐され裸地化されたままとなっており、国に対して再造林の働きかけが必要である。これら「農業」と「林業」を組み合わせ持続可能な雇用確保の仕組みを構築し、集落崩壊の危機が差し迫っている男鹿中地区に若者を呼び込む方策をぜひ検討いただきたい。
- ⑥ 体育館を含めた男鹿中公民館建物については、社会教育活動に資する財産という認識の下、地域住民に親しまれてきたが、市は地域コミュニティセンター設置後、コミュニティセンターとして包括しているとの見解を示している。社会教育部分とコミュニティ推進部分の役割や機能、財産のすみ分けをどのように整理しているのか。
- ⑦ 地域コミュニティセンター整備推進事業について、集落支援員による集落点検の結果に基づく課題解決に向けた事業推進予算が一切措置されていないが、盆踊りなどの伝統文化を通じて地域コミュニティの維持・継承を図っていくための予算措置にも配慮いただきたい。
- ⑧ 地縁団体の手続で本庁舎に伺った際、総務課と会計課を二往復させられた事例があったが、ワンストップで手続が完結できるよう配慮いただきたい。
- ⑨ 昨年大雨災害による断水時の対応について、給水所まで足を運べない高齢者もいたことから、配水車が各集落を巡回する方法も模索していただきたい。
- ⑩ ふるさと納税における寄附額の実績やその用途について。また、地域の維持管理費に財源を活用することで、市内出身者と地域が結びつく体制の構築にもつながると考えるが、各地域に還元する仕組みを検討していただきたい。

6. 特記事項

■協議等が必要な事項

(1) 議会に対する事項

なし

(2) 市政に対する事項

5. (2)のうち、③、④、⑤、⑥の事項について